

提供日 2014/3/6
タイトル グランシップ伝統普及プログラム
担当 公益財団法人静岡県文化財団 企画制作課
連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団
記者提供資料

グランシップ伝統芸能普及プログラム
**伊豆市立天城中学校の1年生59名が、
一流の能楽師から能楽について学びます。**
～能楽の謡や、楽器、伝統芸能ならではの「間」の取り方を体験～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成22年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。今回は、伊豆市立天城中学校の1年生が一流の能楽師に触れる機会を作ります。

2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム
日時	平成26年3月6日(木) 13:15～15:05 (110分)
会場	伊豆市天城中学校(伊豆市月瀬853) 武道場
講師	山階彌右衛門(観世流能楽師、二十六世宗家観世清和 実弟)、 大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家)、 成田寛人(一噌流笛方)、大倉慶乃助(大倉流大鼓方)、徳田宗久(観世流太鼓方)
受講生	天城中学校 1年生(2クラス59名)
授業内容	<ul style="list-style-type: none">・中学校の教科書に掲載され、静岡県のゆかりのある能「羽衣」の謡を謡う。・能楽で使用する楽器の紹介。・譜面で決められている通りに演奏する西洋音楽と、他者との「間」や空気感で息を合わせて行う日本の伝統芸能の違いについての紹介。
目的・特徴	グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域や学校と連携したプログラムとして構成しています。また、各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。 <u>今回は平成23年度に静岡大学と連携して実施した「伝統芸能普及プログラム」に当時学生として参加していた方が、天城中学校の教員となり、音楽教育の場で実践するという展開になりました。</u>
主催	公益財団法人静岡県文化財団

3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者:(公財)静岡県文化財団 企画制作課 電話 054-203-5714 (担当:渡邊・法月)

当日の連絡先 090-4187-7049 (渡邊)